

授業科目	在宅保育				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21326J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP5-2 DP5-3			
担当教員	藤田 稔子、池田 佐輪子							
授業概要	<p>現在、地域型保育給付の一つとして居宅訪問型保育が位置づけられ、また、地域子ども・子育て支援事業の一環として一時預かり事業、延長保育事業、そして病児保育事業における訪問型保育事業が展開されています。さらに仕事・子育て両立支援事業が創設され、企業主導型ベビーシッター利用者支援事業もあり、多様な働き方改革の一環として、我が国の保育サービスは多様化を見せ、今後の社会ニーズに対応できる柔軟なきめ細やかな機能を持つ保育が注目されています。この家庭訪問による保育に必要な特殊な知識および技術を修得することを目的として開講します。なお、本科目は、認定ベビーシッター資格取得のための必修科目です。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居宅訪問型保育とは何かを説明できる</li> <li>2. 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項が説明できる</li> <li>3. 居宅での日常生活援助の基本的な技術ができる</li> <li>4. 居宅での保育におけるあそびが展開できる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	30	10	10	10	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)		15	10			20	45	
技能・表現 (DP5-3)		15		10	10	20	55	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～4 の全てを達成したうえで、自分で更に調べ学習等で内容を深め、詳細かつ丁寧に説明ができる。また、居宅における日常生活援助や保育内容を展開できる力を有している				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居宅訪問型保育とは何かを説明できる</li> <li>2. 居宅訪問型保育者に求められる基本姿勢と家庭訪問時の心構えについて説明できる</li> <li>3. 家庭訪問時に必要になる日常生活援助にはどのようなものがあり、どうすればいいか説明できる</li> <li>4. 居宅での保育におけるあそびの計画が立案できる</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション、居宅訪問型保育の概要(藤田) 本科目および認定ベビーシッター資格についてオリエンテーションをおこなった後、居宅訪問型保育について社会的背景を始め、制度について解説する	オリエンテーション 講義	予習 1:シラバスを読んでくる 予習 2:教科書 2~6、18~27、94~115 ページを読んでくる 復習:講義内容をまとめる	30
2	テーマ:居宅訪問型保育の実際(池田) 実際の保育の様子の DVD を視聴し、集団保育との違い等の気づきを深めていく	講義	予習:授業中に提示する課題 復習:講義内容をまとめる	30
3	テーマ:居宅訪問型保育の運営と倫理観(藤田) 居宅訪問型保育の業務及び運営について解説する。また、家庭訪問時のマナーを説明し、倫理観について言及する	講義	予習:教科書 116~144 ページを読んでくる 復習:講義内容をまとめる	30
4	テーマ:居宅訪問型保育の専門性(池田) 保育の専門性と保育マインド、家庭支援及び虐待について解説する	講義	予習:教科書 7~16、145~169 ページを読んでくる 復習:講義内容をまとめる	30
5	テーマ:様々な家庭訪問保育(藤田) 送迎・同行保育、学童の保育、海外の子どもの保育、訪問型病児保育について解説します。	講義	予習:教科書 220~242 ページを読んでくる 復習:講義内容をまとめる	30
6	テーマ:居宅での保育におけるあそび(池田・藤田) 個別保育でのあそびの意義と具体的内容を解説し、次回以降の演習のガイダンスをおこないます	講義	予習:教科書 28~37、207~219 ページを読んでくる 復習:講義内容をまとめる	30
7	テーマ:保育技術実践 1【あそび】(池田) 居宅における個別保育の実践を学びます	演習	予習:教科書 207~219 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
8	テーマ:保育技術実践 2【あそび】(池田) 居宅における個別保育の実践を学びます	演習	予習:教科書 207~219 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
9	テーマ:保育技術実践 3【あそび】(池田) 居宅における個別保育の実践を学びます	演習	予習:教科書 207~219 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
10	テーマ:保育技術実践 4【あそび】(池田) わらべうた、子守歌、そのほかのあそびを学びます	演習	予習:教科書 207~219 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
11	テーマ:保育技術実践 5【お世話】(藤田) 妊娠・出産・産褥のお母さんの身体と心の変化について知り、一般家庭訪問保育における産後ケアの在り方を考察する	演習	予習:教科書 196、198~202 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
12	テーマ:保育技術実践 6【お世話】(藤田) 居宅における産後ケアの家事支援のうち、特に授乳期の食事を学びます	演習	予習:教科書 202~204 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
13	テーマ:保育技術実践 7【お世話】(藤田) 居宅における産後ケアのうち、家庭でおこなう新生児ケアを学びます	演習	予習:教科書 185~197 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
14	テーマ:保育技術実践 8【お世話】(藤田) 居宅における肢体不自由児等障がい児のケアについて学びます。また、産後ケアの家事支援のうち、掃除・洗濯等について解説します	演習	予習:教科書 170~184 ページを読んでくる 復習:演習時に提示します	30
15	テーマ:まとめ(藤田) 本科目の学びを振り返り、集団保育と訪問型保育の在り方についてまとめ、小テストおよびレポートを作成する	講義 小テスト	予習:今まで学んだことを復習 復習:本科目の全ての復習をする	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本科目は、保育の既習科目が基となる応用的内容であるため、保育士資格取得にかかわるすべての科目を復習しておく必要があります			
テキスト	家庭訪問保育の理論と実際 第3版 公益社団法人 全国保育サービス協会・監修 中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義の中で適宜ご紹介します			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	認定ベビーシッター資格を取得するためには、保育士資格取得見込み(必修科目および9単位以上の選択必修科目の単位取得)と本科目の単位取得が必要条件となります。 居宅訪問型保育は、施設型集団保育とはまた違った魅力があります。ぜひ、多様な保育サービスについても興味関心を広げてください			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>基本的に抑えて欲しい知識は、小テストで問いますが、保育はあくまでも実践学です。いかに保育者としてのゆるぎない技術を身につけるかが肝要だと思っています。達成評価の一番重要な点が、その技術獲得にあります。様々な新しい技を身につけてください。</p> <p>具体的な評価方法としては、</p> <p>(1)小テスト:第15回に総まとめの簡単なテストをおこないます。</p> <p>(2)レポート:最終講で本講の学びについてレポートを時間内で書いていただきます。</p> <p>(3)発表:手作りおもちゃを使っての個別保育の視点を大切にされた発表をしていただきます。</p> <p>(4)提出物:演習時に提出していただくワークシートの記載で評価していきます。</p> <p>(5)その他:講義中の発言等の取り組み度、各演習の取り組み態度、自己評価で評価していきます。</p> <p>課題に対するフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術演習は、個別の指導になりますのでその場でお伝えしていきます。</li> <li>・提出されたワークシート等は、必要に応じてコメントを書いて返却いたします。</li> </ul>			

	<p>・小テストは、基本的に全員に返却いたします。間違っ箇所は見直し、学びに活かしてください。</p>
--	---